

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英 語 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・生徒がコミュニケーションする意欲を持てるようにする授業



授業・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」と90%以上の生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会もあり、学ぶ楽しさを実感しているように見受けられる。



成果と課題

成果

- ・わかりやすい導入を心がけるために、デジタル教科書を適切に活用した。
- ・帯活動で英単語ビンゴを活用し、繰り返し指導をする。その結果、音と綴りの規則性を学び、正しく発音し、文字を読めるようにさせることができた。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、ペアワークやグループワーク、AIチャットの適切な活用を継続的に行い、生徒一人ひとりの発話量を増やせるようにした。それがALTとのコミュニケーションテストにむけて自信につながった。

課題

- ・各単元で何を学ぶのかどんな力を身につけさせるのか、複数の教員で確認・共通理解が必要である。また、毎時のねらい・流れの提示と振り返りを徹底させ、学習内容について理解を深めさせていく。そのために、授業のまとめで「できること」を確認したり、ペアやグループで共有したり、学習の定着度を図らせたい。
- ・書く力を養うために、基本的な構文の繰り返し練習も必ず行い、今後も書いたものを発信する機会を設けるようにする。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英 語 ） 学年（ 2 学年 ）

目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・学習した英語を使えるようにできる授業



授業・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」とほとんどの生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会もあり、それが学ぶ楽しさにつながっているように見受けられる。



成果と課題

成果

- ・わかりやすい導入を心がけるために、デジタル教科書などを適切に活用した。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、ペアワークやグループワーク、タブレットによる音読やAIチャット練習を継続的に行い、生徒一人ひとりの発話量を増やせるようにした。
- ・タブレットやノートの活用を行い、書く力、発表する力に結び付いた。

課題

- ・各単元で何を学ぶのかどんな力を身につけさせるのか、複数の教員で確認・共通理解が必要である。また、毎時のねらい・流れの提示と振り返りを徹底させ、学習内容について理解を深めさせていく。そのために、授業のまとめで学習内容を確認したり、ペアやグループで共有したりして、学習の定着度を図らせたい。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英 語 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

- ・わかりやすい授業、生徒が学ぶ喜びを持てる授業
- ・生徒が、～することができた、と実感し、自ら学んでいこうとする意欲につながる授業



授業・アンケート等の課題分析

「授業に積極的に取り組んでいる」とほとんどの生徒が回答している。授業中に、わかった、できたと感じる機会や生徒同士で学び合う活動によって、学ぶ楽しさを実感しているように見受けられる



成果と課題

成果

- ・わかりやすい導入を心がけるために、ICT 機器やデジタル教科書を適切に活用することができた。
- ・基本的な英語のやりとりをできるように、生徒一人ひとりで考え、そのあとペアまたはグループで互いの考えを伝えられたり、表現の幅を広げられた。
- ・タブレットによる音読練習や AI チャットを活用し、ESAT-J3 へのモチベーションにつながり、それが結果につながった。

課題

- ・各単元で何を学ぶのかどんな力を身につけさせるのか、複数の教員で確認・共通理解が必要である。また、毎時のねらい・流れの提示と振り返りを徹底させ、学習内容について理解を深めさせていく。